

# 乙訓 NEWS

OTOKUNI News Paper

2021年 VOL.1



## CONTENTS

- ◆ 理事長挨拶
- ◆ 2021年度委員長の意気込み
- ◆ 12月卒業式・忘年会報告
- ◆ 12月例会・1月例会
- ◆ 理事長企画  
目指せ!!未来のオリンピア!!

## ～ 理事長 挨拶 ～

新年おめでとうございます。平素は、公益社団法人乙訓青年会議所に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

一昨年、私たちは創立40周年を迎え、昨年は、次の45周年へと向かい意気揚々とスタート致しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか、思うような活動ができない一年ではありました。しかし、そのような状況のもとでも、私たちは変化を受け入れ、新たな活動方法や新たな価値を模索し続け、今までとは違う新しい成果を実感することができました。なかでも二市一町の首長をはじめ、多くの地域諸団体の皆様や先輩諸兄姉の皆様には、変わらぬご理解と、私たちの運動・活動を支えて頂いたことに対しまして、感謝申し上げます。

さて、私たち公益社団法人乙訓青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現に向けて、より良い乙訓（まち）となるよう日々運動を行っております。この乙訓（まち）は、心地よい自然に交通の利便性と、歴史遺産から育まれた高い文化性が調和したまちとして、人口も緩やかに増加し、発展を遂げてきました。しかし、将来的には、人口減少・超高齢社会の到来・加速する経済格差・多発する自然災害への不安など、この国が抱える課題に直面することが予想されております。また、2020年に世界規模で社会的・経済的、そして政治的危機を引き起こした新型コロナウイルス感染症を起因とするパンデミックは、これまでの習慣や社会常識を根本から見直すことを私たちに迫っています。今までの価値観が通用しない時代だからこそ、この困難な時期を乗り越えれば、人々は新しい考え方や生き方を実現できるのではないのでしょうか。そして、我々は、先輩諸兄姉より、この愛する乙訓（まち）の過去から未来に続く壮大な「まちづくり」という物語を託された主人公であります。たとえ今は苦しくとも自ら変化の起点となり、青年会議所の理想を胸に、時代の変化に負けない運動を展開し、乙訓（まち）からの負託と信頼を得る存在でなければなりません。変わりゆく時代のなかでも、希望をもって未来を描ける乙訓（まち）であり続けなければなりません。



本年度はスローガンに「Be the change」を掲げ、「～その行動こそが未来を変える～」をテーマに活動してまいります。「Be the change」には、不透明な社会情勢への不安と組織の危機を一人ひとりが意識を変えるチャンスとポジティブに捉え、圧倒的な主体者意識から生まれる行動力で乙訓（まち）の未来のために邁進しようとする想いが込められています。

42年目を迎える乙訓青年会議所の運動に、多くの市民、行政、地域諸団体、先輩諸兄姉の皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

2021年度  
公益社団法人乙訓青年会議所  
第42代理事長 小西 光

be the  
change

その行動こそが  
未来を変える!

2021年度 公益社団法人乙訓青年会議所



## ～ 委員長の意気込み～



未来をつくる委員会  
委員長 下戸 一晃

本年度乙訓青年会議所は、期首会員数が近年では最も少ない37人となります。未来をつくる委員会では、過去最高の入会目標人数を30人と掲げて、コロナウイルス蔓延の脅威をチャンスと捉え、新たな発想でWITHコロナを模索し、青年会議所の魅力を伝えることで、委員会の名の通り、青年会議所の未来を担う人財に一人でも多くご入会頂けるように、そのためには、委員会メンバーだけではなく乙訓青年会議所全メンバーや関係者様など多くの方の協力が必要となります。青年会議所活動に興味があられる方がおられましたら、遠慮なくおっしゃってください。ご説明にお伺いさせていただきます。

今後も地域に影響を与え続けられるように一年間取り組ませて頂きます。皆様どうぞ応援とご協力宜しくお願いします。



総務広報戦略委員会  
委員長 佐伯 昌裕

本年度、総務広報戦略委員会では、委員会スローガンを「WAVE」とし、組織の中枢を担う責任と自覚をもち、一人ひとりが起こしたものが小さな行動（小さな波）でも、それが一つとなり大きな力（大きな波）へと変わることを示し、乙訓青年会議所の変化を牽引する委員会となるように委員会メンバー全員で取り組んでいきます。また、社会情勢が不安定ではありますが、各委員会の支えをし、より良い事業の構築につながるように精一杯に責務を果たしていきます。そして、広報におきましても、乙訓青年会議所の魅力や事業活動を一人でも多くの方に知って頂けるように、様々な手法を用いて発信していくことで、信頼や共感につなげていきたいと考えております。一年間、どうぞよろしくお願い致します。



組織イノベーション委員会  
委員長 中野 翔太

2021年度組織イノベーション委員会は「流動性を高めよう」をテーマに一年間活動してまいります。時代の変化に対応し、リスクや失敗を恐れず、多様な人財や価値観を認め、JC活動だけでなく社業やプライベートにおいても新しいことにチャレンジして頂きたいと思っております。委員長としてまず、メンバーへの感謝の気持ちを忘れず、一人ひとりの成長を第一に考え、楽しく学びの機会を提供できるようスタッフとともに委員会運営をしていきます。イノベーションは特別な人が実現できるものではなく、誰もが実現できると考えています。委員会メンバー一人ひとりの個性を活かし、常に意識変革の気持ちを持ち、主体的に行動することで沢山のイノベーションを起こし、組織により良い変化をもたらすと考えています。委員会メンバー全員が責任感と行動力を持ち、誰からも信頼される「人格者」になれるよう一年間全力で活動してまいりますのでよろしくお願い致します。



ワクワクする  
まちづくり委員会  
委員長 松宮 一貴

日々変化する困難な社会情勢のなかでも、我々ワクワクするまちづくり委員会は、乙訓地域を少しでも明るくするため、今まで以上に行政・市民・地域諸団体と乙訓青年会議所が連携し一年間活動してまいります。まずは委員会メンバーに楽しく活動してもらえるように委員会の雰囲気高め常に前を向き率先した行動をとります。委員会テーマとして全員が変人となり、一年後最後には家族となるために、自分たちの活動に誇りをもってもらいます。一つひとつの行動、言動に意味をもち、何事にも率先して行動してもらい、主体者意識を向上してもらうことでメンバー同士の絆を深め地域愛を育んでももらいます。

我々委員会が公益事業全て任して頂いた大役を全うし、今までと違う新しいまちづくりにチャレンジしてまいります。明るい乙訓を創造するべく一年間委員会メンバー一同全力で活動してまいりますので宜しくお願い致します。



# 12月卒業式・忘年会

2020年12月10日（木）ANAクラウンプラザホテル京都（平安の間）にて、公益社団法人乙訓青年会議所卒業式が行われました。40歳を迎えた1980年生まれの名がこの日、卒業されました。卒業式での卒業生登壇では卒業生一人ひとりの軌跡が映像で流れ、活動の懐かしみや雄姿を見ることができました。卒業生スピーチでは、卒業生がJC活動での思い出を振り返りながら、先輩や現役メンバーとの心に残るエピソードを熱く語られ、サプライズでのビデオメッセージでは、関わりのあるJC関係者の方々から、お祝いのメッセージも頂きました。送辞・答辞では代表者の想いを感じ、今後の飛躍に向けたエールを送ることができました。また、花束贈呈では、卒業生に縁のある現役メンバーより花束が渡され、熱い抱擁が交わされました。最後に卒業生を送り出す風景は感動的でした。卒業生の皆様にはコロナに負けることなく、より一層のご活躍を心よりお祈りいたします。

忘年会では、オープニング映像で2020年度のこれまでの事業を振り返り、本年度役員紹介、理事長挨拶では、達成理事長に一年間の感謝と次年度以降の運動に対する挨拶がありました。その後、本年度入会されました4名の新たな仲間の紹介、本年度の出向者の紹介があり、それぞれの代表者のスピーチで会場は温かくも達成感に包まれていました。2021年度役員紹介では、小西理事長予定者に、次年度も一丸となって取り組める姿勢と参加者との絆が深まるスピーチをして頂きました。最後に坂元専務理事の挨拶により、一本絞めを行い参加者全員の絆がより強固なものとなる忘年会になりました。



<2020年度ご卒業生 6名>

最後に、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力くださいました多くの皆様に感謝申し上げます。



卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます



# 12月例会

2020年12月10日（木）ANAクラウンプラザホテル京都（平安の間）にて、達城理事長が掲げられた「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」のスローガンテーマのもと活動してきた一年間の集大成として12月例会が開催されました。褒章授与式では、2020年度に顕著な活動をされたメンバーへの表彰を行い、受賞者を祝いました。また、受賞者から喜びの一言を頂き、誇らしげな姿を見て、次年度の活動への活力になりました。委員長総括では各委員会が登壇し、委員長から一年間の活動の総括とともに委員会メンバー一人ひとりに労いの言葉をかけて頂きました。理事長総括では、達城理事長から全体の総括をして頂き、本年度を締めくくることができました。そして、理事長バッジ・直前理事長バッジの交換、ならびにプレジデンシャルリース伝達式を経て、次年度への引継が無事に行われたことで、新たな年に向けての第一歩を踏み出すことができました。

【特別功労賞】坂元 陸

【出向者特別賞】田中 望麻

【優秀会員賞】中野 翔太

【最優秀会員賞】富田 達也



# 1月例会

2021年1月6日（水）、乙訓の地でもある長岡京市の中央生涯学習センター3階メインホールにて、新型コロナウイルス感染防止対策を最優先とし、現地開催とWEB配信でのハイブリッド形式にて1月例会を開催致しました。二市一町の首長である安田守向日市長、中小路健吾長岡京市長、前川光大山崎町長、山城広域振興局中地則元副局長、スポンサーJCである公益社団法人京都青年会議所の石山理事長、また、近畿地区協議会会長の川谷会長から動画にて挨拶を頂きました。1月例会に、ご参加頂きました皆様にご理解を賜るべく第42代理事長・小西光より本年度のスローガン「Be the Change～その行動こそが未来を変える～」の定める一年間の運動の方向性をお話し頂きました。そして、乙訓青年会議所メンバーの意識を統一することにもつながり、組織が一丸となり活動していく気骨をもつことができました。

本年度は、乙訓青年会議所の直前理事長でもある達城英治を京都ブロック協議会会長に輩出させて頂いております。達城英治会長が、掲げるスローガン「強くあれ！！」と小西光理事長が掲げる「Be the Change～その行動こそが未来を変える～」の2つのスローガンが組織の両輪となるように活動してまいります。

最後になりましたが、新年のお忙しいなか、ご参集賜りました皆様には、心から感謝申し上げます。私たちは、昨年学んだことを生かして青年会議所活動を止めず柔軟に対応してまいりますので、どうぞ一年間よろしく願い申し上げます。





# 小西理事長企画 「目指せ！！ 未来のオリンピック！！」

小西理事長企画

『目指せ！！未来のオリンピック！！』

と、題しまして乙訓地域で活躍されている未来の子供達にスポットをあて、競技体験を通じて取材をしていきます。



第1回目は、乙訓青年会議所に所属されておられました石井佑典先輩が向日市で経営をされている「西の丘ローンテニスクラブ」に所属する、堀川いち乃さん取材させて頂きました。小西理事長は、取材をする前に「スポーツ体験を通じてテニスのことをもっと知りたい」とおっしゃられ、堀川いち乃さんとテニスラリーを体験されました。始めは、早い打球

なのでラケットにボールが当たらなかったのですが、徐々に打ち返せるようになり、最後には汗をかきながら「いい体験ができました！！」と感想を述べられました。

その後のインタビューでは、自己紹介として乙訓青年会議所がどのような活動をしているのかを、堀川いち乃さんに説明するところから始まりました。堀川いち乃さんは現在中学2年生（14歳）で、お母様やお兄様の影響を受けテニスを7歳から続けてこられ、始めた頃はテニスが好きではなかったそうです。しかし、少しずつ興味をもち、現在では全国ベスト4という素晴らしい実績をもつ選手に成長されました。そして、目標をプロテニスプレイヤーとし、海外留学も視野にいれ英会話の勉強をするとともに、肉体改造としてバランストレーニングや体幹トレーニングなどを始められ、夢を叶えるために意欲的に日々行動されています。1月末には、京都ウインスタージュニアテニス選手権に出場され、優勝を目指して日々練習に取り組まれています。



堀川いち乃さんが、14歳でもしっかりと夢に向かって行動されているのを目の当たりにし、私たち乙訓青年会議所メンバーも乙訓地域のために、さらなる発展に向けて行動してまいります。

最後に、乙訓青年会議所はこれからも堀川いち乃さんを応援していきます！！



乙訓から目指せ！！2024年パリ五輪へ！！